

略歴

森野彰人 MORINO Akito

- 1969 京都に生まれる
1993 大阪芸術大学芸術学部陶芸コース卒業
1995 京都市立芸術大学大学院美術研究科修了
現在 京都市立芸術大学准教授
IAC（国際陶芸アカデミー）会員

主な展覧会歴

- 1994 近作展 17 クレイワークの4人展（国立国際美術館／大阪）
1996 '96 新鋭美術選抜展（京都市美術館／京都）'98, '00, '02, '05
現代陶芸の若き旗手たち（愛知県陶磁資料館／愛知）
1997 ファエンツァ国際陶芸展（ファエンツァ／イタリア）
第4回美の予感 工芸（高島屋／東京日本橋、大阪、京都、横浜）
1998 陶芸の現在的造形展（リアスアーク美術館／宮城）
第5回国際陶磁器展 美濃 '98 銀賞受賞（多治見）
'98 画廊の視点（大阪府立現代美術センター／大阪）
2000 IZMIR INTERNATIONAL CERAMICS SYMPOSIUM（イズミール／トルコ）
2001 京都府美術工芸新鋭選抜展「2001 新しい波」（京都文化博物館／京都）
2002 現代陶芸 100 年展「日本陶芸の展開」（岐阜県現代陶芸美術館／岐阜）
2003 現代陶芸の華（茨城県陶芸美術館／茨城）
TOSA・TOSA 2003 現代陶芸・14人の尖鋭たち
—現代陶芸の系譜—（高知県立美術館／高知）
2006 日本陶芸 100年の精華（茨城県陶芸美術館／茨城）
2007 京都市芸術新人賞受賞
2009 現代工芸への視点—装飾の力（東京国立近代美術館／東京）
2013 新時代のやきものへの挑戦（滋賀県立陶芸の森・陶芸館／滋賀県）
2015 京焼歴代展—継承と展開（京都市美術館／京都）
その他グループ展、個展多数

受賞

- 1998年 第5回国際陶磁器展 美濃 '98 銀賞受賞
2007年 京都市芸術新人賞 受賞
2011年 第22回タカシマヤ美術賞 受賞

パブリックコレクション

（財）滋賀県陶芸の森／岐阜県現代陶芸美術館／国際交流基金／京都市立美術館／
京都府文化博物館／茨城県陶芸美術館／石川県立九谷焼技術研究所／宮城県瀬峰町農村環境改善センター
／宮城県警待機宿舎／NPO法人 麗潤館／DOKUZ EYUL 大学（トルコ）／アルゼンチン近代美術館 日本
の家／ホテルグランピア京都／リッツ・カールトン京都／大阪マリオット都ホテル／ザ・キャピタルホテ
ル東急／星のや東京／エクシブ京都八瀬離宮／エル・パークスクエア京都鴨川

このたび高島屋では、東京日本橋、大阪、京都の各店において「森野彰人—豊饒な文様」を 島屋美術部創設 110 年記念の一環として開催いたします。

森野彰人は「やきもの」における「かたち」と「装飾」の関連性を追及し作品を制作している作家です。デビューした 90 年代に、空間を装飾するというコンセプトによる壁面への大型造形作品〈W.O.O.〉シリーズを発表し、一躍注目を集めます。以降も装飾や文様の意味を問いながら、器胎に透かしを施した〈雪華蓉〉のシリーズを発表するなど更なる評価を高め、2011 年に「第 22 回タカシマヤ美術賞」を受賞いたしました。

森野は「やきものは生活の中にあるもの」という根源的な意味や歴史的な背景に拘ります。文様や装飾にある重要な意味を紐解きながら、日常空間における融合を見出そうと試み続けるその感覚は、京焼の地に生まれ育ち、祖父と父を陶芸家にもつ森野ならではの独自のものといえるのではないのでしょうか。

今展では吉祥文を施した近年の代表作〈蓉〉をはじめ、無数の釉薬の滴を文様として施した〈容〉シリーズの新境地の作品まで新作を一堂に展覧いたします。

生活空間を華やかに装飾する森野彰人の「豊饒な文様」をご高覧ください。

高島屋美術部

東京展

2017年4月12日(水)→5月1日(月)

東京日本橋高島屋 6 階美術画廊 X
東京都中央区日本橋 2-4-1 Tel 03-3211-4111（代）
午前10時30分～午後7時30分

大阪展

2017年5月17日(水)→23日(火)

高島屋大阪店 6 階ギャラリー NEXT
大阪市中央区難波 5-1-5 Tel 06-6631-1101（代）
午前10時～午後8時、ただし、5月19日(金)・20日(土)は午後8時30分まで、最終日は午後4時閉場

京都展

2017年6月28日(水)→7月4日(火)

高島屋京都店 6 階美術画廊
京都市下京区四条通河原町西入真町 52 Tel 075-221-8811（代）
午前10時～午後8時、最終日は午後4時閉場

〔森野彰人 豊饒な文様 カタログ〕

発行＝2017年4月12日

編集・発行＝株式会社高島屋 ©2017

デザイン＝神田宇樹

製作＝求龍堂（深谷路子）